

# 発達障害児の特性と理解

## 地域の中で、できること

栄区こども家庭支援センターにし  
社会福祉士・心理士・保育士 河西幸子

# はじめまして

- ▶ 栄区にある、こども家庭支援センターにじで 相談員をしている河西です。

こども家庭支援センターは、児童福祉法に基づき横浜市から認可を受けた相談機関です。

専門の相談員がお話をうかがいます。

お子様自身、保護者の方はもちろん、支援者の方からのご相談もお受けできます。



# 普段は相談員をしています

- 本日は、事例なども交えてなるべく想像しやすいようにお話を進めたいと思っています。
- 今日お話に出てくる事例は、人物特定ができないように時期や年齢や詳細を差し支えない範囲で変えてお話しています、ご了承ください。



# 発達が心配・気になる子がいる・・・



- ・話しかけても返事がない（鈍い）
- ・表情が乏しい
- ・大きな音や知らない音を怖がる
- ・初めての場所や人が苦手
- ・会話がちぐはぐ
- ・一方的なコミュニケーション
- ・動きが多い
- ・人が多い場所が苦手
- ・子どもだけれど子どもが苦手
- ・距離感が近い

ほんの一例ですが  
たとえば...

# 今日は、いま増えている子どもの課題を 一緒に学んでいきましょう。

- ▶ 発達障害は治ることはありませんが、早期療育をすることで本人が暮らしやすくなります。また、地域の理解が、保護者の負担を減らすことにも繋がります。
- ▶ まずは皆さんに知っていただけるだけでも、とても嬉しいです。



# 発達障害ってなに？

HSC/HSPは精神科の病名（医学用語）ではない。流布されている民間用語。DSM-5/ICD10にそのような記述なし。

## 発達性協調運動障害

低緊張・空間認知の苦手・  
時間感覚・覚醒レベル・両  
手操作の苦手・左右が一瞬  
わからない・姿勢の悪さ・  
構音が苦手など

## 感覚過敏

聴覚・視覚・触覚・  
味覚・嗅覚

広汎性発達障害（PDD）

アスペルガー症候群  
（AS）

高機能自閉症  
（HFA）

## 自閉症スペクトラム

（ASD）

知的障害

## 学習障害

（LD）

## 注意欠陥多動性障害

（ADHD）

自閉症スペクトラム (ASD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)
臨機応変が苦手	気が散りやすい	数の概念を捉えにくい
皮肉や冗談がわかりづらい	落ち着きがない	音読がたどたどしい
言葉の裏がわかりにくい	怒りやすい	板書が困難
思ったことをそのまま言いやすい	泣きやすい	簡単な暗算が困難
自分の興味関心や、やり方・ペースの維持を優先	気持ちのコントロールが苦手	どこを読んでいるかわからなくなる
こだわりがある	多弁（言葉の多動）	鏡文字や勝手文字
切り替えが苦手	忘れ物が多い	順序だてて考えるのが苦手
興味の範囲が狭く没頭する	片づけられない	方向感覚の苦手さ
他者視点に立ちにくい	思考が止まらない	知的障害は伴わない
表情が作りにくい	集中力が保ちにくい	
同時処理の苦手さ	ケアレスミスが多い	
会話が丁寧すぎる	待つことが苦手	
不器用さがあることも	ぼーっとしていて話を聞いていないように見える	

症状は**一例**で、個人にもよります。

発達障害親の会で聞いてみた



では、0～2歳頃は？どんなことに困っていたのでしょうか。

- ▶ 同じ月齢の子に興味を示さない
- ▶ 名前を呼んでも振り向かない
- ▶ タイヤや円盤状の物をくるくる回して遊ぶ（同じ遊びが多い）
- ▶ 切り替えが苦手
- ▶ 夜泣き、寝つきの悪さなど（逆にとても寝る場合も）
- ▶ 保護者が長時間いなくなっても関心がない
- ▶ 逆さバイバイ、クレーン現象
- ▶ 表情が乏しい
- ▶ 身体に触ることを嫌がる



# 入学前にどんなことで困っていたでしょうか？

- ▶ 登園拒否
- ▶ 集団行動の苦手さ
- ▶ 切り替えの苦手さ
- ▶ イレギュラーな活動が苦手
- ▶ 偏食
- ▶ 一斉指示が入らない（マイペースと見逃されがち）
- ▶ 人が多いことが苦手→行事等が苦手
- ▶ 動きが多い、じっとしてられない
- ▶ 物静かで友人トラブルも少ないが、遊びに自主的に参加できていない
- ▶ 身体の使い方がぎこちない
- ▶ 発音が舌足らず
- ▶ 気持ちを言葉にできない（嫌だ→何が嫌か言えない）
- ▶ 気持ちの制御ができない、癇癩
- ▶ 笑顔が少ない、表情が乏しい、感情表現が乏しい



# 小学校でどんなことに困っていたでしょうか？

- ▶ 不登校・行渋り
- ▶ 学力不振、あるいは逆に出来過ぎで授業がつまらない
- ▶ 集団指示が入らない
- ▶ イレギュラーな行事が苦手
- ▶ 音やにおいの苦手さ→できない事や行けない場所がある
- ▶ 多動（行動の多動、脳内多動、口の多動）
- ▶ 友人の作りにくさ（コミュニケーションの質的課題）
- ▶ 切り替えの苦手さ（ゲームの切り上げ、遊びの切り上げ）
- ▶ 刺激に弱い、起こりやすい、泣きやすい
- ▶ やるべきことの優先順位のつけにくさ
- ▶ 提出物出さない、忘れ物多い、机の中ぐちゃぐちゃ
- ▶ 援助要請が出来ない
- ▶ 生活リズムの崩れ、金銭管理、兄弟げんか



# 発達障害スペクトラムという考え方

グ  
ラ  
デ  
ー  
シ  
ヨ  
ン

「自分にも当てはまる！」という人がたくさん



スペクトラム（連続体）という考え方がしっくりくる

「僕、私もそれくらい頑張れる・我慢できる  
から、あなたも頑張れ」

**共感と理解と、適切な環境・支援を。**

療育センター・早期療育という言葉をよく聞くけれど...

**療育とは、本人にわかりやすい、丁寧な育児のこと**

# お子さんに関わる上でのポイント

- ▶ 「助けて」「難しい」「嫌だ」といった子どもからの「助けて・手伝って」のヘルプを受けた場合、こども本人が「言ってよかった。また困ったら言おう」と思える対応をしていただけで嬉しそうです。

「〇〇がしたい」「〇〇がいや」→「**気持ちと言えたね、よくわかったよ**」

言葉のないお子さんであれば、表情やジェスチャーでも。

応じられるかどうかは別として、表出できたことを認めたり、伝わっているよと共感してもらえる経験は、お子さんにとって貴重なものです。



# 支援者や、地域の方をお願いしたいこと

- ・保護者や当事者としては、笑顔で接して下さるだけでも力になります。  
お子さんの支援は今後も継続してありますが、保護者支援は無い場合も多く、不安の中で頑張っておられたり、怖くて認められない保護者さんもいます。

**「また来てね」「がんばっているね」など温かい言葉がけも、とても嬉しいものです。**



# リフレーミングで、こどもの良いところ探し！

- ▶ リフレーミングとは、「捉え直し」のことです。ネガティブな言葉からポジティブな見方に変わることで、そのお子さんの強みが見えてくることも。伝え方にも使えます。

あきっぽい→興味の幅が広い  
大人しい→おだやか

しつこい→粘り強い  
のんびり→些細なことにこだわらない

頑固→意志が強い  
騒がしい→明るい・活発



走らないで→歩いてね  
ちょっと待って→時計の針がここまで  
待ってね

早く帰ろう→あと〇回でおしまい  
だから言ったでしょ→  
どうすればよかったんだっけ？  
こぼすよ→おなかと机をくっつけて

具体的に・短くわかりやすく

誰もが生きやすい地域を



みんな違って  
みんないい

ありがとうございました。